

第3回 オープン実践研究会

テーマ

地域に根差したSDGsの教育実践 ～ 地域と学校が循環し合う教育の探究 ～

日本学校教育学会 実践研究委員会では、年に3回のオープン実践研究会（オンライン研究会）を実施しています。今回は、2023年度3回目のオープン実践研究会で、探究学習について小学校から高校までの教育実践について事例を通して深く学び合います。

現在、次期学習指導要領についての議論が進行していますが、「国家カリキュラムから学校カリキュラムへ」という方向性が一つの流れとなっているようです。これは学校現場での高い教育課程編成能力が求められていることを意味しています。本オープン実践研究会では、その点についての見識も深めることができると確信しています。

みなさま、ぜひオープン実践研究会にご参集ください。



日時

2024年6月2日(日) 14:00～16:00



実施方法

ZOOMによるオンライン開催／参加費無料 (先着50名限定)

発表内容

- ◆ コーディネーター：祐岡 武志 (阪南大学)
- ◆ 総括：多田 孝志 (金沢学院大学：元日本学校教育学会会長)

◆ 発表者

- 【1】 たのしいあきいっぱい
～奥多摩の人と環境を生かした体験活動と子供の思いを大切にした授業作り～
土屋 真悟 (東京都奥多摩町立古里小学校)
- 【2】 「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ ESD 実践 ～地域の力を活用した実践例～
島田 智 (秋田県大仙市立大曲南中学校)
- 【3】 わたしたちが社会を動かす！SDGs で社会とつながる「春女総探プロジェクト」
田中 佐和 (埼玉県立春日部女子高等学校)

参加方法

◎以下のURL、または右下のQRコードから 5月26日(日) までにお申し込みください。

参加申込フォーム→ <https://forms.office.com/r/LuU6wuUCWW>



※ 申込完了後、研究会前日までにZOOMのURLをメールでお送りいたします。
※ なお、ZOOM研究会を記録用として録画させていただきますことをご了承ください。

